



ひだ宇宙科学館
カミオカラボ

Hida Space Science Museum Kamioka Lab

スーパーカミオカンデなどの世界最先端の宇宙物理学研究を紹介

「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」 3月27日(水)オープン決定

今月号の特集は、3月27日(水)にオープンする「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」について詳しくご紹介します。

—全国初!?
宇宙物理学に特化した
科学館が誕生

「カミオカンデ」(*)を用いた研究により小柴昌俊教授がノーベル物理学賞を受賞され、続いて「スーパーカミオカンデ」の実験成果により梶田隆章教授がノーベル物理学賞を受賞されるなど、神岡町には東北大学のカムランドも含め宇宙物理学において世界をリードし続ける研究拠点が集積しています。またKAGRAも本格観測を間近に控えています。

当市にもこれまでこの世界最先端の施設を見学したいという声を多く寄せいただきましたが、鉱山の中にある研究施設のため、一般の方が見学できるのは、年にごく数回と限られていました。

そこで、東京大学宇宙線研究



▲「ワンダーシップ」のシアター映像①

所と東北大学の監修のもと、いつでもその研究内容に触れたり、体験できる施設「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」が道の駅宙(すかい)ドーム・神岡内に3月27日(水)オープンします。
※カミオカンデは現在存在しておらず、その跡地で東北大学が「カムランド」を運用しています。

—圧巻!
高さ7mの巨大スクリーン
でスーパーカミオカンデを
紹介!

カミオカラボの目玉は、中央にそびえ立つ高さ7mの円柱型巨大スクリーン「ワンダーシップ」です。ワンダーシップでは、梶田隆章先生のノーベル物理学賞につながる研究を支えた世界最大の地下ニュートリノ観測装置である「スーパーカミオカン



▲「ワンダーシップ」のシアター映像②

デ」の施設概要や研究内容を子どもから大人まで、どなたでも分かりやすく紹介します。

更に未来の宇宙船「ワンダーシップ」に乗って、宇宙を旅するニュートリノを追いかける映像も迫力満点です。

もう一つの目玉として、スーパーカミオカンデで使用されているニュートリノを見つめる目「光電子増倍管」の本物を展示しています。通常は研究者でも内部に入れないタンクに入った感覚を味わうことができます。

その他にも、一般的に難解と思われているニュートリノの性質をゲームを通して体験し、知っていただけの展示もありません。

今後、サイエンスカフェなども企画する予定であり、宇宙物理学に詳しい人も全く知らない人も楽しめる施設です。



▲「光電子増倍管」の展示

「ひだ宇宙科学館 カミオカラボ」

▶場 所：神岡町道の駅宙(すかい)ドーム・神岡内

▶開館時間：9:00～17:00

▶定 休 日：水曜日(年末：12月29日～1月3日)

▶入 館 料：無料

☎ 0578-86-9222 (3月1日～)

🌐 <http://www.city.hida.gifu.jp/site/kamiokalab/>

